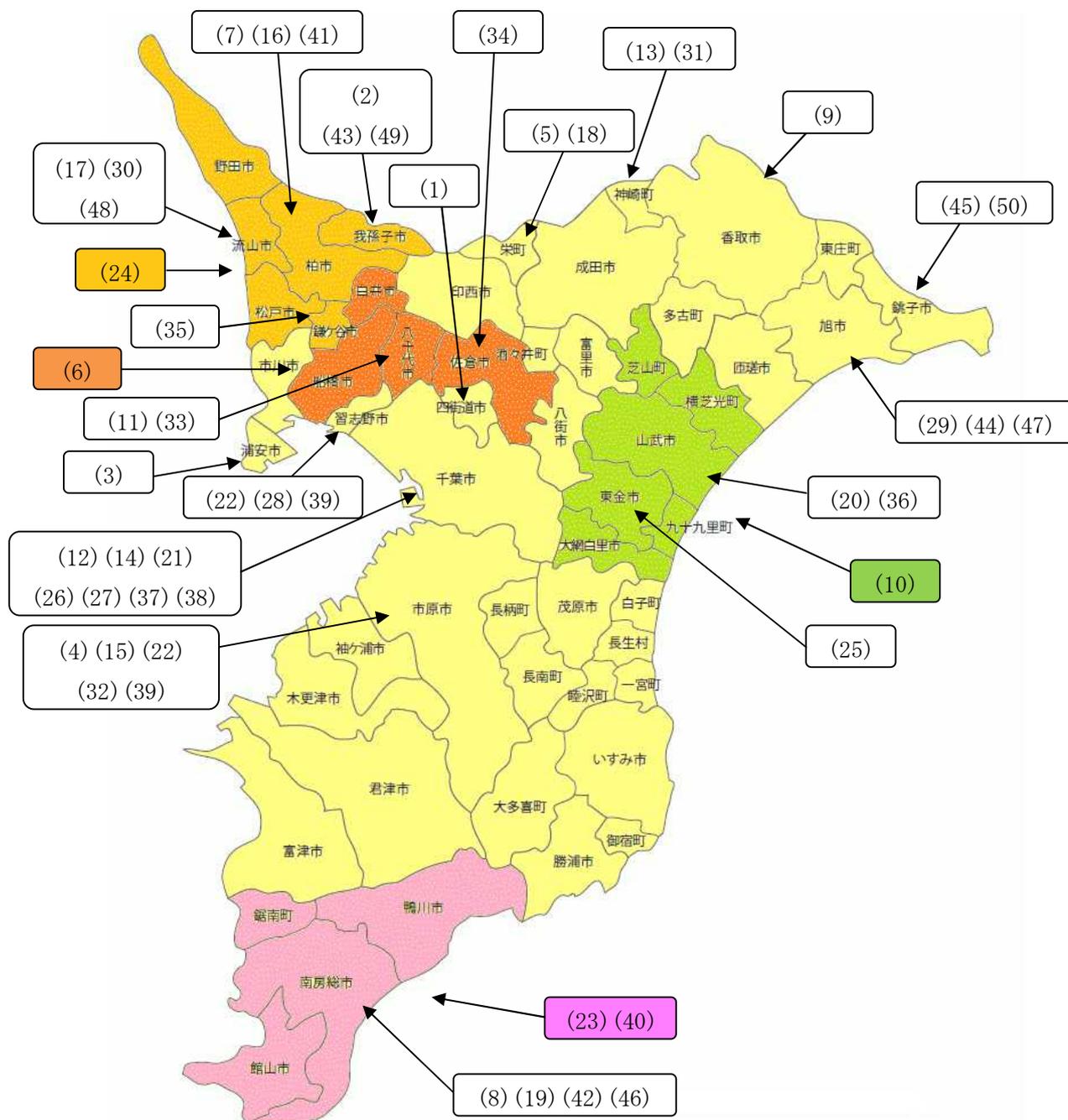


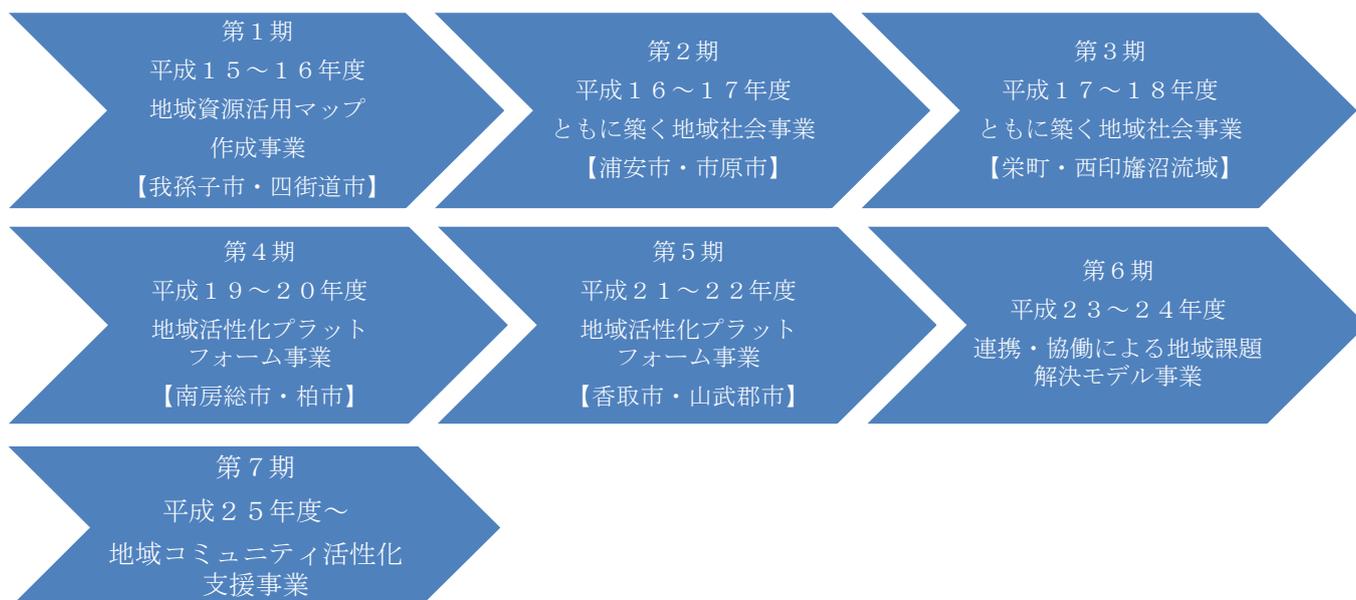
2 これまでの県行政の取組

(1) 地域の多様な主体の連携・協働の取組支援

県内における多様な主体の連携・協働による課題解決への取組については、事業の名称を変えながら、平成15年度から支援をしてきました。これまでの支援を通して、各地に円卓会議などの連携の仕組みが根付いてきていますが、引き続き各取組の成果を広く普及させていく必要があります。

【これまでの事業の概要】





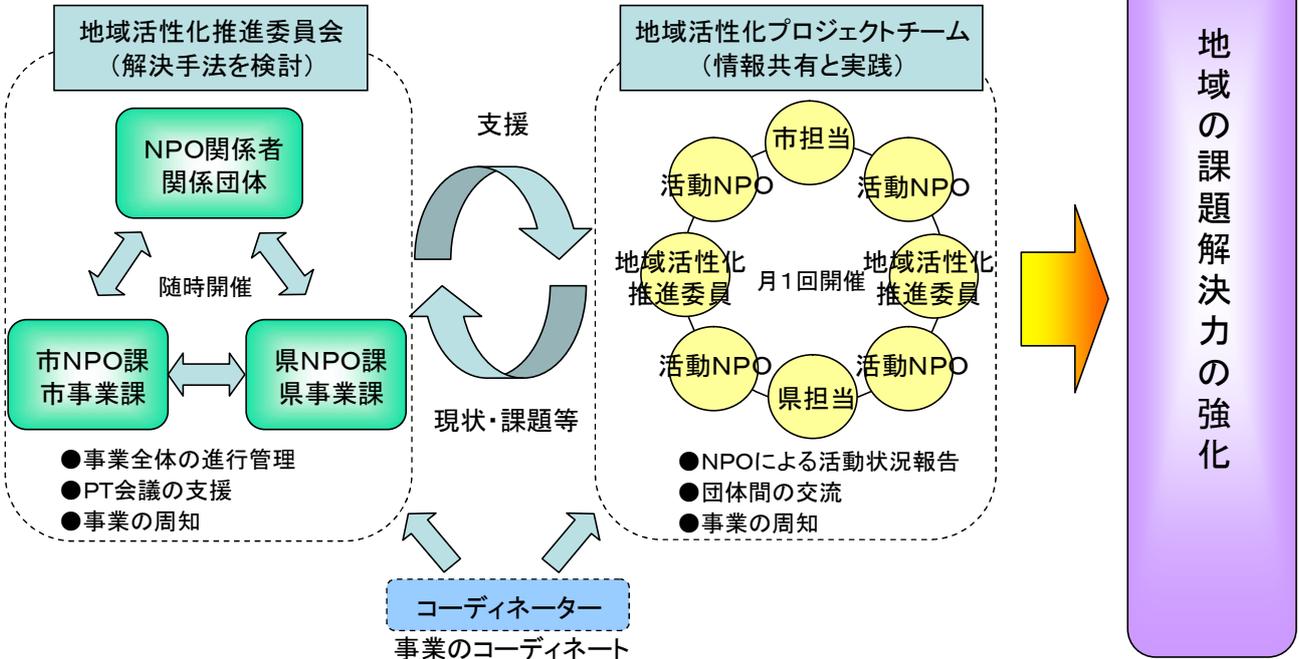
事業名 (実施年度)	実施地域	テーマ	コーディネーター
地域資源活用 マップ作成事業 (平成15～16年度)	(1) 四街道市	子どもが伸びやかに育つ環境づくり	(株) 計画技術研究所、四街道市
	(2) 我孫子市	商店街の活性化、地域スポーツの振興	(株) 計画技術研究所、我孫子市
ともに築く 地域社会事業 (平成16～17年度)	(3) 浦安市	安心・安全のまちづくり	(株) 地域計画連合
	(4) 市原市	いきいき市原ふるさとづくり	(株) 地域計画連合
ともに築く 地域社会事業 (平成17～18年度)	(5) 栄町	子どもがかけまわれるまち・Sakae よみがえれ野良坊	NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
	(6) 西印旛沼流域(船橋、佐倉、八千代、白井)	印旛沼とその流域河川の水質浄化に対する意識啓発と実践活動	NPO法人とんぼエコオフィス
地域活性化プラットフォーム事業 (平成19～20年度)	(7) 柏市	アート(芸術文化)がつなぐまちづくり	(株) ワコールアートセンター、柏駅周辺イメージ推進協議会(ストリート・ブレイカーズ)
	(8) 南房総市	地域が連携して取り組むグリーン・ブルーツーリズム	NPO法人千葉自然学校
地域活性化プラットフォーム事業 (平成21～22年度)	(9) 香取市	多様な主体の連携・協働による観光まちづくり～みんなでつくる香取 ときめき・ふれあいの旅～	(有) 浅尾計画事務所
	(10) 山武郡市	100年後のふるさとへの贈り物～水と緑ときれいな空気と心地よい空間を目指して～	NPO法人コミュニティサービス地球座

○ 「地域活性化プラットフォーム事業」 (平成 19～22 年度)

● 事業フロー



● 実施体制図



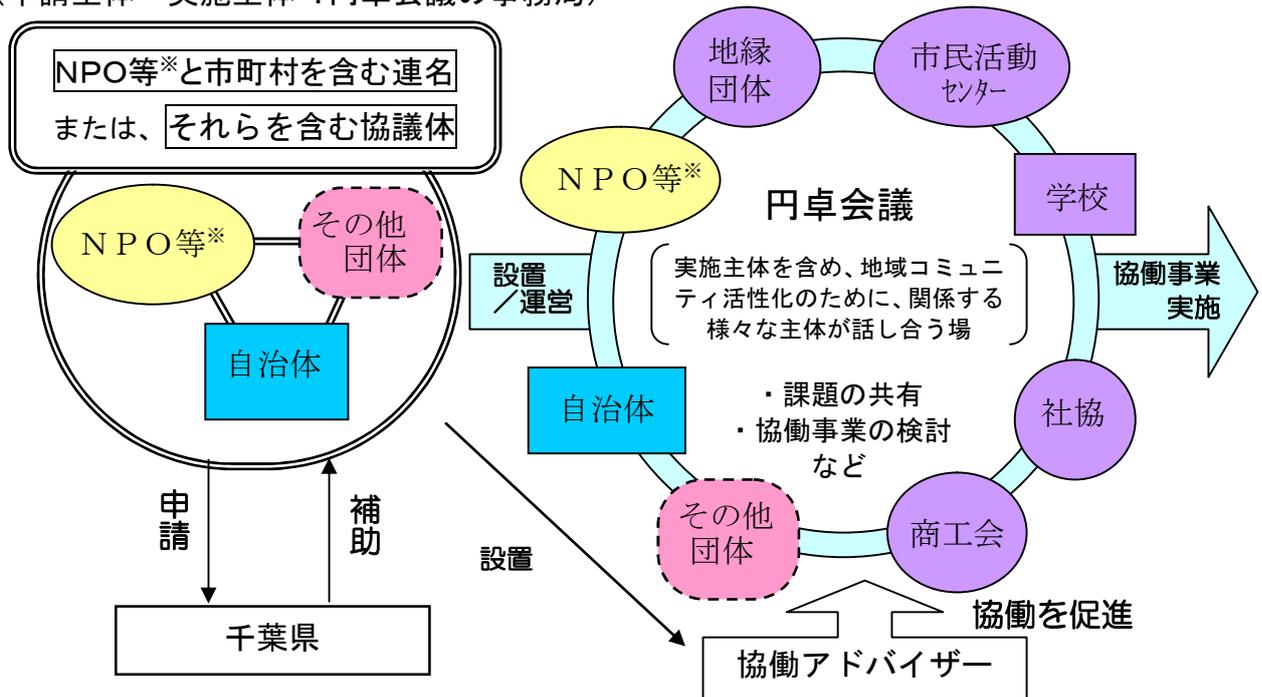
事業名 (実施年度)	実施地域	テーマ	実施主体
連携・協働による地域課題解決モデル事業 (平成 23 年度)	(11) 八千代市	ヤマトミクリの里づくり検討事業-島田谷津・里山-	ヤマトミクリの里づくり協議会
	(12) 千葉市	老朽化・液状化によるニュータウン・団地の空家化を防ぎ地域の再生を図る協働検討事業	ニュータウン・団地再生協議会
	(13) 神崎町	県内で最も小さな町の連携・協働を育む中間支援機能の強化	発酵の里協議会
	(14) 千葉市	住民参加と地域資源の協働による「安全・安心のまちづくり」	千葉市第16地区町内自治会連絡協議会、淑徳大学、千葉市
	(15) 市原市	大蔵みかん再生プロジェクト	大蔵みかん再生プロジェクト協議会
	(16) 柏市	子ども循環社会「地縁のたまご」モデル事業	多世代交流型コミュニティ実行委員会、柏市
	(17) 流山市	安心・安全多次元協働事業～蟻の目行動計画づくりを通じた防災福祉のまちづくり～	流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会

	(18) 栄町	栄町ミュージアムビレッジブランド開発事業	特定非営利活動法人まちづくりサポートひと・まち倶楽部、栄町
	(19) 南房総市	地域づくりプラットフォーム構築による課題解決基盤の確立	南房総市地域づくり倶楽部
	(20) 山武市	地域再生事業	地域再生協議会
	(21) 千葉市	幸町 1 丁目を安心と生きがいのあるまちに再生	千葉市第 36 地区町内自治会連絡協議会、NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、千葉市
	(22) 習志野市、市原市	まちづくりアーカイブスによる地域課題・地縁力・志縁力のマッチングと中間支援機能強化プログラム	千葉まちづくりアーカイブス協議会
	(23) 館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町	元気な高齢者がつくる地域の元気-里山・里地を活かしたシニアアクションスクールの開校へ	南房総体験活動ネットワーク協議会
連携・協働による地域課題解決モデル事業 (平成 24 年度)	(24) 東葛地域	NPO 等の地域課題の解決パートナー力向上	企業と NPO のパートナーシップ推進東葛協議会
	(25) 東金市	市内にたくさんの「まちの駅」を作りネットワーク化する事業	まちの駅ネットワークとうがね
	(26) 千葉市	地域マネジメントを目指した住民主体のまちづくり検討事業	幕張ベイタウン協議会、特定非営利活動法人千葉まちづくりサポートセンター、千葉市
	(27) 千葉市	「地域の緑を地域で守り育てる街づくり」緑の空間を活用した地域コミュニティ活動の循環モデル構築事業	おゆみ野地区コミュニティづくり懇談会、おゆみ野の森を育てる会、千葉市
	(28) 習志野市	「ワイがや通り活性化」協働事業の検討並びに活動基盤強化事業	特定非営利活動法人ちば経営応援隊、習志野市
	(29) 旭市	いいおか津波復興プロジェクト	いいおか津波復興プロジェクト協議会
	(30) 流山市	安心・安全多次元協働事業～連携・協働の拡大と発展による防災福祉のまちづくり～	流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会
	(31) 神崎町	発酵をテーマとした“小さな公”をつなぐまちづくり	発酵の里協議会
	(32) 市原市	大蔵みかん再生プロジェクト	大蔵みかん再生プロジェクト協議会
	(33) 八千代市	ヤマトミクリの里づくり検討事業	ヤマトミクリの里づくり協議会

(34) 佐倉市	佐倉市におけるユニバーサル農業促進事業	社会福祉法人生活クラブ、佐倉市
(35) 鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷有機物肥料化プロジェクト	医療法人梨香会、特定非営利活動法人千葉精神保健福祉ネット、鎌ヶ谷市
(36) 山武市	市民参加の自立した地域づくり事業	地域再生協議会
(37) 千葉市	住民参加と地域資源の協働による「安全・安心のまちづくり」	千葉市第 16 地区町内自治会連絡協議会、淑徳大学、千葉市
(38) 千葉市	幸町 1 丁目を安心と生きがいのあるまちに再生	千葉市第 36 地区町内自治会連絡協議会、特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、千葉市
(39) 習志野市、市原市	まちづくりアーカイブズによる地域課題・地縁力・志縁力のマッチングと中間支援機能強化プログラム	千葉まちづくりアーカイブズ協議会
(40) 館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町	インキュベーター機能を持つ「シニア自然大学」のゼミの開設と卒業後の人材活用の仕組みづくり、場づくり	南房総体験活動ネットワーク協議会

○ 「連携・協働による地域課題解決モデル事業」（平成 23～24 年度）、「地域コミュニティ活性化支援事業」（平成 25 年度～）の実施イメージ

（申請主体＝実施主体≒円卓会議の事務局）



「地域コミュニティ活性化支援事業」（平成 25 年度～）においては、※部分が「地縁団体」

事業名 (実施年度)	実施地域	テーマ	実施主体
地域コミュニティ 活性化支援 事業 (平成 25 年度)	(41) 柏市	『多世代交流型コミュニティ事業』地域交流による活性化支援事業	多世代交流型コミュニティ実行委員会
	(42) 南房総市	地域・都市連携による平群地区コミュニティの活性化	平群ツーリズム協議会
	(43) 我孫子市	「ちばの WA！東葛本舗」が推進する、高齢者の暮らしを守る支援ネットワークの仕組みづくりプロジェクト	「ちばの WA！東葛本舗」推進協議会
	(44) 旭市	いいおか津波復興プロジェクト	いいおか津波復興プロジェクト協議会
	(45) 銚子市	地域通貨を活用した市民主体の「思いが循環する」しくみづくり事業「この指とまれ！」プロジェクト	銚子商工会議所青年部、NPO 法人国際教育推進プロジェクト BeCOM、銚子市
地域コミュニティ 活性化支援 事業 (平成 26 年度)	(46) 南房総市	地域・都市連携による平群地区コミュニティの活性化～地域運営型グリーン・ツーリズムの推進～	平群ツーリズム協議会
	(47) 旭市	旭・いいおか復興観光まちづくりプロジェクト	いいおか津波復興プロジェクト協議会
	(48) 流山市	地域コミュニティ再生事業～安心・安全の取組による地域コミュニティの融和・活性化～	流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会
	(49) 我孫子市	「ちばの WA!東葛本舗」が推進する「地域の生き生きライフサポート」モデル構築事業	「ちばの WA!東葛本舗」推進協議会
	(50) 銚子市	銚子発！地域ミライづくり多世代交流事業	一般社団法人銚子青年会議所、銚子商工会議所青年部、NPO 法人国際教育推進プロジェクト BeCOM、銚子市

(参考) 地域コミュニティ活性化支援事業の取組事例

事業名（年度）	地域・都市連携による平群地区コミュニティの活性化（平成25、26年度）
実施主体	平群ツーリズム協議会（構成主体：南房総市平久里下・中・山田地区、NPO法人千葉自然学校、南房総市等）
実施地域	南房総市（42）（46）
取組の趣旨	平群地区において地域資源を活かしたグリーンツーリズムを展開し、都市と農村の交流による地域活性化を目指しています。
取組の概要	<p>南房総市内の旧平群小学校区を構成する3地区が連携して、地域の歴史・文化や里山、そして地元住民の技芸を活用したグリーンツーリズムの開催、産品づくり、里山環境の保全再生等に取り組んでいます。主な事業内容や特徴は以下のとおり。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="464 819 895 1144">  <p style="text-align: center;">古民家「ろくすけ」</p> </div> <div data-bbox="930 819 1361 1144">  <p style="text-align: center;">里山整備体験</p> </div> </div> <p>○円卓会議の開催 協議会で実施した地域資源調査結果などを参考にしながら、地域資源の保全や活用について話し合う円卓会議を実施。平成25年度は計5回開催。</p> <p>○グリーンツーリズムの実施 円卓会議での提案等をもとに、都市部のシニアや子供たちを対象に、古民家「ろくすけ」を拠点としたハイキングコースの開発及びツアーや平群の祭り・里山くらしを体験するプログラムを実施。</p> <p>○都市部シニアとの交流 都市部シニアグループと連携しながら、都市部シニア層を対象に、里山整備体験や大豆、ソラマメ栽培の体験機会を提供。</p> <p>○住民1人1技発揮の場づくり 豊かな知恵や技を持つ高齢者をはじめとする地域住民が、竹・木工細工や手芸、料理その他の技を持ち寄る交流会や体験指導等を実施。</p>

事業名（年度）	「ちばのWA！東葛本舗」が推進する、高齢者の暮らしを守る支援ネットワークの仕組みづくりプロジェクト（平成25年度）「地域の生き生きライフサポート」モデル構築事業（平成26年度）
実施主体	「ちばのWA！東葛本舗」推進協議会（構成主体：久寺家地区まちづくり協議会、我孫子市、NPO法人ACOB A、まちづくり火の見櫓の会等）
実施地域	東葛地域（主に我孫子市）（43）（49）
取組の趣旨	高齢化が進む我孫子市久地家地区において、高齢者の見守りや生活支援等のネットワークを構築し、他地域へのノウハウの波及を目指しています。
取組の概要	<p>我孫子市で高齢化が進んでいる久地家地区をモデル地域とし、久地家地区まちづくり協議会と地域のニーズ調査を行い、企業やNPO等と住民をつなげるネットワークづくりを行っています。主な事業内容や特徴は以下のとおり。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>講演会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地元住民との交流会</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○円卓会議の開催 アンケートの内容検討や、実施事業の具体的な運営検討、アドバイスなどを行う円卓会議を実施。平成25年度は計4回開催。 ○アンケートの実施 高齢者の実態やニーズを把握するため、久地家まちづくり協議会と各自治会長等が一体となって、大がかりなアンケートを実施。結果をもとにアクションプランを作成。 ○地域の会社・NPOと地域住民の交流会 生活支援サービスや介護サービスなどを実施する地域の団体や企業と、サービスを受けたい地域の住民の交流会、相談会を実施。 ○講演会 専門家を招いて、健康予防やエンディングノート、遺産相続、防災など、高齢者の暮らしに関わる講演会を実施。

(2) ちばコラボ大賞

県内では、福祉や環境、子育て、まちづくりなどの様々な分野で、地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等とNPOとが連携して、地域の課題解決に取り組んでいます。県では、そのような連携事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例を「ちばコラボ大賞」(千葉県知事賞)として表彰し、連携の重要性や効果を広く県民の皆さまにお知らせすることにより、連携による地域づくりの促進を図っています。(平成23年度は震災により中止)

年度	事業名	連携団体
平成22年度	コスモの森「学校の環境教育支援プロジェクト」	コスモ石油株式会社千葉製油所、特定非営利活動法人千葉自然学校
	市川市における安全で安心なまちづくりのための耐震診断	東京ベイ信用金庫、県立市川工業高等学校、NPO法人住まいのサポートセンター
	九十九里地域医療夏季セミナー2010	東金商工会議所、城西国際大学、NPO法人地域医療を育てる会
平成24年度	多次元連携協働事業	流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会
	多世代交流型コミュニティ事業	多世代交流型コミュニティ実行委員会、NPO法人テラス21、柏農家の野菜市運営委員会、柏市社会福祉協議会、東京大学、柏市
平成25年度	富津市志駒・山中地区「廃校を活用した教育ファームづくり」	NPO法人千葉自然学校、環南みんなの楽校、富津市峰上第十区(志駒地区)、富津市峰上第十一区(山中地区)
	関わる全ての人が笑顔になる仕組み	株式会社ソーケン製作所、NPO法人ちばMDエコネット、NPO法人地域生活支援の会ステップ、NPO法人カム・トゥルー石陶房、NPO法人1to1
	発酵をテーマとした“小さな公”をつなぐまちづくり	NPO法人日本自給教室、NPO法人トージバ、株式会社寺田本家、有限会社こうざき自然塾、南実の音農園、福ちゃんのパン、みなみ屋、神山酒店、月のとうふ、くすくす笑店
平成26年度	青木繁「海の幸」誕生の家・小谷家住宅を活かした漁村のまちづくり	NPO法人安房文化遺産フォーラム、青木繁「海の幸」誕生の家と記念碑を保存する会、NPO法人青木繁「海の幸」会、館山美術会、NPO法人全国生涯学習まちづくり協会、千葉県歴史教育者協議会、青木繁旧居保存会、館山市、館山市教育委員会、富崎地区コミュニティ委員会、布良崎神社、財団法人石橋財団石橋美術館、くるめつつじ会
	緑が丘クリーンプロジェクト(地域の清掃から、安心・安全な街を目指して)	緑が丘クリーンプロジェクト、八千代市立みどりが丘小学校、八千代市、八千代市防犯組合連合会、八千代市教育委員会、八千代市社会福祉協議会、株式会社サイサン千葉支店、社会福祉法人八千代翼福祉会、イオンモール株式会社
	復興観光一被災から花と緑いっぱいのもちづくり	花と緑で旭を元気にするプロジェクト協議会(構成団体:NPO、企業、学校、行政等)

(参考) ちばコラボ大賞の表彰事例

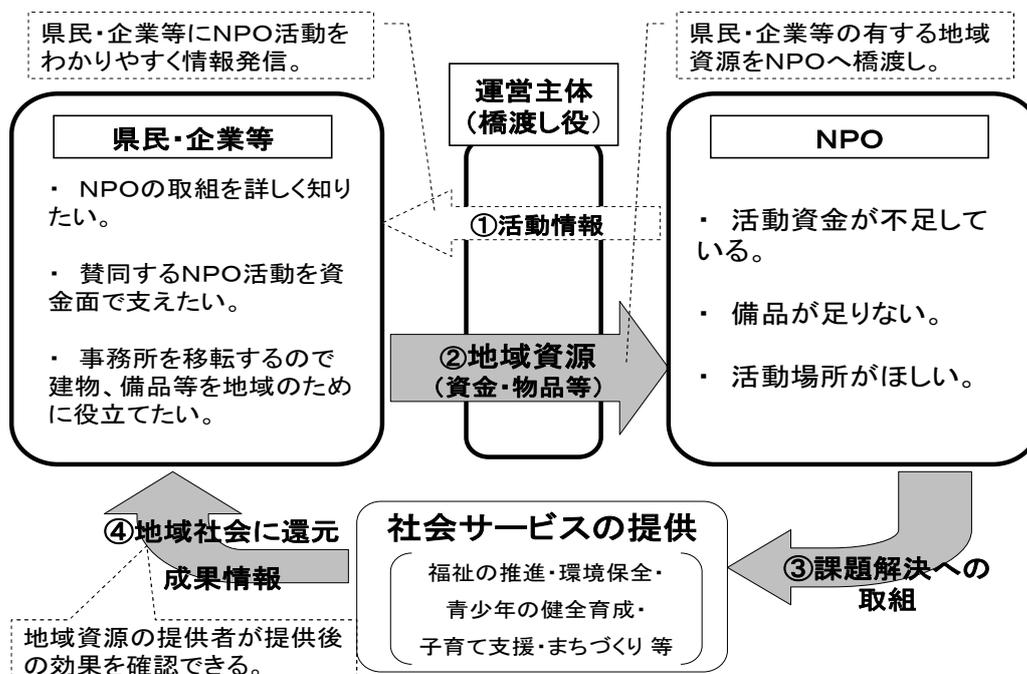
事業名 (年度)	多次元連携協働事業 (平成24年度)
実施主体	流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会 (モデル事業分科会構成主体: NPO法人市民助け合いネット、NPO防災対策サポート、NPO法人 Rise up 女性サポート実行委員会、まちネット流山、流山ファシリテーターズクラブ、江戸川大学、株式会社新都市ライフ、都市再生機構千葉常磐開発事務所、流山市中部地域包括支援センター、流山警察署、流山市)
取組の概要	つくばエクスプレス及び東武野田線「流山おおたかの森駅」周辺地域で、NPO法人や企業、大学、行政などが連携して、防災マップの作成やまち歩きイベントの実施など、「防災福祉」をテーマに活動している取り組みです。
取組の内容	<p>○協議会の設立</p> <p>流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会は、平成17年につくばエクスプレスの開業を契機に、流山市及びUR都市機構が発起人となって設立されました。「安心・安全のまちづくり」の趣旨に賛同する地域の団体、大学、鉄道・福祉事業者、商業等民間企業、行政等(流山警察、UR都市機構はオブザーバー参加)の19団体で構成されています。</p> <div data-bbox="970 730 1394 1032" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">防災マップ作りの様子</p> <p>○防災マップの作成と活用</p> <p>東日本大震災に起因する危機感を起動力として、多くの地域住民、団体に呼びかけ、地域の危険箇所や避難経路などを記した防災マップの作成や、マップを活用したまち歩きイベントを実施しています。</p> <div data-bbox="443 1196 815 1453" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">まち歩きイベント</p> <p>○テーマに応じた分科会による取組</p> <p>流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会では、テーマに応じて分科会を設け、様々な主体の連携による具体的な取組を実践しています。第1ステージでは、「防犯まちづくり」、「子育て支援」に取り組み、平成20年「安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しています。</p> <p>現在は、第2ステージとして「防災」「地域コミュニティ再生」などを新たなテーマとして、子育て親支援NPOと大学、自治会・マンション管理組合などが連携した親世代の支援交流や、大学、NPO、地域包括支援センターとが連携して地域包括支援業務に係る講座の開催、地域防災対策などに取り組んでいます。</p>

事業名（年度）	発酵をテーマとした“小さな公”をつなぐまちづくり（平成25年度）
実施主体	こうざき発酵の里協議会（構成主体：株式会社寺田本家、有限会社こうざき自然塾、南実の音農園、NPO法人日本自給教室、NPO法人トージバ、福ちゃんのパン、みなみ屋、神山酒店、月のとうふ、くすくす笑店）
取組の概要	老舗の酒蔵や地元農家、商店、市民活動団体等が中心となり、発酵食品の提供や、発酵を食品以外にも活用したサービスを創造することで、町のイメージアップや交流人口の増加を図り、町を活性化させる取り組みです。
取組の内容	<p>○「発酵の里協議会」の立ち上げ</p> <div data-bbox="440 730 887 1037" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">酒蔵の様子</p> <p>神崎町は、かつて「関東灘」と呼ばれるほど、発酵・醸造産業が盛んな地域でした。商店街の活気が失われつつある中、神崎町を再び元気な町にしていこうと老舗の酒蔵や地元農家が中心となり、発酵をテーマとしてまちづくりに取り組む「発酵の里協議会」を立ち上げ、行政やNPOに協働を呼びかけ、地域の活性化を進めています。</p> <p>○「全国発酵食品サミット in こうざき」の開催</p> <p>平成25年1月には、全国の発酵すきや醸造のスペシャリストが集まり神崎町に集まり、「全国発酵食品サミット in こうざき」を開催しています。伝統食や環境問題におよぶ発酵の多面的な機能や可能性を共有・理解できる場となりました。</p> <div data-bbox="959 1249 1385 1547" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">発酵食品サミットの様子</p> <p>○食の分野に留まらない「発酵」の活用</p> <p>発酵の里協議会では、発酵を食の分野に留まらずにサービスを提供しており、発酵熱を利用した酵素風呂づくりの体験やバイオガスプラントづくりワークショップの実施、お酒を使った化粧水を作る手作り発酵コスメのワークショップなどを実施しています。</p>

(3) 「民が民を支える地域資源循環システム」の普及・支援

○「民が民を支える地域資源循環システム」とは

「民が民を支える地域資源循環システム」は、NPO活動をわかりやすく情報発信することにより、広くNPOの取組を知ってもらい、県民・企業等が持っている地域資源（物品、資金、情報等）を、様々な課題の解決に取り組んでいるNPOに橋渡しする仕組みです。



* システムの構築により期待される効果

①NPO活動の自立的・継続的な発展につながります。②県民・企業等に課題解決に参加する機会が提供されます。③地域資源の提供をきっかけとして、課題解決に向けた地域の多様な主体の関係づくりにつながります。

○システムの概要

県では、平成20年度にシステムの構築から運用までを行うモデル事業を公募により実施し、システムを構築しました。平成21年度から23年度まで、県と運営主体との間でモデル事業の成果の使用条件等に関する覚書を締結して運営していました。現在は、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金が運営しています。

公益ポータルサイトちばのWA！ → <http://chibanowa.canpan.info/>



地域資源循環システムちばのWA！

- ①日本財団の「公益コミュニティサイトCANPAN」のシステムを活用して「公益ポータルサイトちばのWA！」を構築し、運営。
- ②県民・企業等から信頼を得るために、登録したNPOの基本情報を公開する「ちばNPO情報館」を設けて情報発信を行う。
- ③県民・企業から資金・物品を提供していただいた場合、情報館に登録したNPOを対象に助成・物品の仲介を行う。
- ④県民・企業からいただいた資金については「ちばのWA！基金」に繰り入れ、寄付先が指定された場合は指定先のNPOに、特に指定が無い場合は公募により寄付先を募集し、公開プレゼンテーション・審査会等を経て採択された団体に助成金として交付する。
- ⑤県民・企業からの物品提供の申し出があった場合は、公益ポータルサイトちばのWA！内に設けた「物品提供システムNPO三尺店^{さんじゃくだな}」等で、提供物品のリストを公表し、提供を希望する団体に仲介する。
- ⑥情報館に登録したNPOからのブログによるリアルタイムの活動情報の発信や県内や全国の企業のCSR情報の発信をサイト内で行う。

(参考)「ちばのWA」を活用した取組事例

※「ちばのWA地域づくり基金」HP掲載の「助成実績一覧」を元に作成しています。

団体名	認定 NPO 法人外国人の子どものための勉強会
事業名	外国人の子どもたちの学びを支援する事業
受入寄付金額 (事業実施期間)	222,316 円 (平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)
事業概要 と成果	<p>孤立しがちな外国人の子どもたちが安心して学べる場をつくる。日本語&数学・作文教室の開催、交流会の開催。</p> <p>教室に参加したのは小学生 28 名、中・高生 40 名。例年 10 月に入ると、中学 3 年生の生徒が急に増えるが、平成 25 年度の受験生は松戸市に限らず、印西市、香取市、野田市など遠方から通ってくる生徒も加わり 14 名。受験生は受験に向けて頑張り全員合格、進学しなかった子どもも進路が決まった。交流会は 3 回開催し、9 月は「外であそぼう会」、12 月は「おやこ会」、3 月は「卒業おめでとう会」を行い、述べ 117 名が参加。外国人の子どもと親御さん、日本人の子どもが集い、皆で楽しいひと時を過ごした。</p>

団体名	企業組合あしたね 障害福祉サービス事業所「明日の種」
事業名	長作に「明日の種」をまく ～障がい者と地域の人々をつなぐ畑再生プロジェクト～
受入寄付金額 (事業実施期間)	69,171 円 (平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)
事業概要 と成果	<p>施設のある千葉市花見川区長作町の耕作放棄地を借り、施設を利用している障がいの者の体力回復や心の安定、作業工賃の向上のために畑再生プロジェクトを実施する。</p> <p>うつ病で休職中の社会人 3 名を受け入れ、それぞれ職場復帰につながりました。特別支援学校教職員や千葉刑務所の就労支援ワーカー、花見川区保護観察官などの見学会や、学生の実習を受け入れも行いました。</p> <p>助成金では鍬や鎌、夏野菜の苗、種、肥料等を購入し、畑の看板も手作りしました。ほぼ何もないところからのスタートで、ご協力いただいた方々の寄付金で購入することができ、本当に感謝申し上げます。</p>